

西光寺だより 第一八五号 令和八年 一月一日発行

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

二〇二六年、新しい年がはじまりました。

昭和一〇一年のはじまりです。

関西は大いに盛りあがつたことでした。未来に目を向けるには、今まで培つた過去があるからこそ。そんなことを考えながら万博を見ることができ、多くの学びもありました。これからも未来に向けてミヤクミヤクと続いていくことでしょう。

昨年の一年の早さに驚くばかりでした。四季が二季になつたような感じでした。振り返つてみると、春も短く梅雨もなく、秋も短くわからぬままただただ夏の酷暑が身体に残っています。気候に振り回された一年でした。また自然災害はじめ様々なことがあつたこと、思い出します。

年末恒例の漢字は『熊』でした。自然との共存を考えさせられた一文字でありました。

今年はどんな一年になるでしょう。

あたりまえからおかげさまの日々、ゆとりのある日々を送りたいものであります。つねに阿弥陀さまと一緒に歩みたいと思います。本年も皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆先月の報告◆

①十二月一日（月）～一日（火）京都西本願寺へ茨木東組念佛奉仕団に行つてまいりました。お天氣も良く比較的温かな天候の中、お掃除をしてまいりました。ただいつもと違つてこの日は歴代宗主の御命日の日であり、お掃除は一日目のみで、二日目は法要を参拝いたし、初めてのお勤めに出会うことができました。こういう念佛奉仕団もありがとうございましたことと感じることができました。

西光寺からは二名の参加で、茨木東組全員で二七名の参加でした。年内最後の茨木東組行事。三五回目参加の表彰もいただきました。一年お疲れさまという気持ちと、また来年もどうぞよろしくの気持ちを思いながらの時間でした。

念佛奉仕団のご法話の中に、

『一人いて悲しい時は二人いると思え。

二人いる時は三人と思え。その一人は親鸞なり』

とのお言葉を耳にいたしました。

何回か聞かせていただいたお言葉でしたが、親鸞聖人の御影堂での同じお言葉は、「あなたは決して一人ではありません」、と心強く胸に響いたことありました。

その親鸞聖人のご法事、御正忌報恩講が西本願寺で一月九日～十六日まで厳修されます。どうぞ皆さん、お時間がある方はお参りください。インターネットでも中継が予定されています。浄土真宗最大の行事を体験するのもよいのでは。

（追伸）御影堂の中の正面の内陣の上に掲げられている『見真』の大きな額、聞いたところによりますとその大きさは畳三畳分あるそうです。下から見ますとそれほど大きなものと感じませんが…。見る機会があればご確認ください。

念佛奉仕ご参加の皆さん、お疲れ様でした。
またの機会どうぞ皆さんよろしくお願ひいたします。

合掌





浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺
大阪府茨木市西河原一-一七一二
電話 ○七二一-六二二一-四七九四
FAX ○七二一-六二二一-九二九一
<http://www.osaka-saikouji.net/>



③一月一日（水）西光寺本堂にて元旦会法要を厳修いたしました。ご門徒さんとバ一緒に、一年の始まりと阿弥陀さまへの感謝のお勤めをいたしました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

②十一月三十一日（火）西光寺鐘楼にて除夜の鐘を撞きました。多くのご門徒の皆さん、近隣の皆さんに来ていただきました。今年に浜屋さんに修理修繕をお願いしてはじめての鐘付きであります。人それぞれの思いにゴオーンとバ恩の思いを響かせながら、一年の終わりをむかえました。ありがとうございました。